

介護発！魅力ある職場づくりによるYAMAGATA発展プロジェクト 令和4年度 生産性向上・業務改善の取り組みについて

介護人材の確保・定着のために、生産性向上や業務改善の取り組みを通して、より働きやすい職場づくりを支援します。

よくある経営者の悩み

- やりたいことはあるが現場に余力がない
- ミドルリーダーが育ってこない・任せられる人がいない
- 職員に元気、笑顔、会話がでない
- どうも非効率な仕事のやり方で残業しているように見える

生産性向上に取り組んだ後の声

- 現場がイキイキと働いてくれるようになり、雰囲気良くなった！
- 意見を言え、自分で考えられる、頼もしいリーダーが育ってきた！
- 離職も減り、事業所の運営が安定してきた！
- 業務のデジタル化が着実に進んでいる！

生産性向上モデル事業について

モデル事業所 1 事業所に**具体的で実践的な改善活動の Protokol**をご提供し約6ヶ月間に渡って改善活動を実施いただきます。またその改善活動に対し**業務改善支援に豊富な経験のある株式会社TRAPE**が伴走支援を行います。

| ステップ | 取り組み内容 | 想定期間 (R4.9月～R5.3月) |
|------|----------------------|-----------------------|
| 0 | モデル施設との調整、PJ立ち上げ準備 | 3～4週間 |
| 1 | 全体キックオフ、活動スタート | 1週間 |
| 2 | 現場環境の見える化、因果関係図の作成 | 3～4週間 |
| 3 | 課題の絞り込み、整理分析、事前データ確認 | 2～3週間 |
| 4 | 改善プランの作成 | 2～3週間 |
| 5 | 改善活動の実施、トライ&エラー（前半） | 4～5週間 |
| 6 | 改善活動の実施、トライ&エラー（後半） | 4～5週間 |
| 7 | 成果の振り返り、事後検証、とりまとめ | 3～4週間 |

令和4年8月8日(月)14:00～16:00に市内の全介護サービス事業所を対象に「実践セミナー&ワークショップ」と「生産性向上モデル事業説明会」をオンラインで開催します。この機会にぜひご参加ください。**申し込みはこちら→**



業務改善ステップの詳細

ステップ1

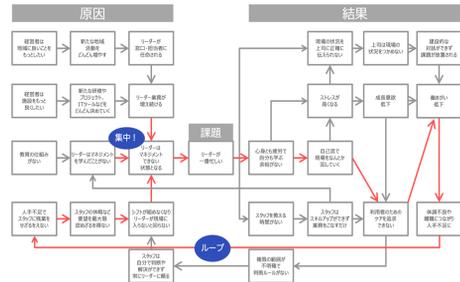
全体キックオフ



本事業を行う意味をプロジェクトチームやその他職員に経営層から直接語りかけてもらう。

ステップ2

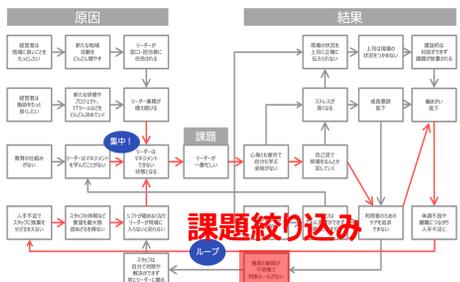
現場環境見える化
因果関係図の作成



現場の声をできるだけ多く集めた上で、ワークショップを開催し、「因果関係図」を作る。課題の見える化、構造化に取り組み職場の共通認識を作る。

ステップ3

課題の絞り込み,分析
事前データ確認



因果関係図をブラッシュアップさせていき、評価マトリクスを用いて取り組むテーマの絞り込みを実施。

ステップ4

改善プランの作成

| 課題 | 現状 | 目標 | 達成率 | 備考 |
|---------------|-----|-----|-----|-----|
| 1. 業務効率化 | 10% | 20% | 50% | ... |
| 2. 顧客満足度向上 | 15% | 30% | 40% | ... |
| 3. 従業員満足度向上 | 20% | 35% | 30% | ... |
| 4. 品質管理強化 | 12% | 25% | 35% | ... |
| 5. 安全管理強化 | 18% | 32% | 45% | ... |
| 6. 環境対策実施 | 10% | 20% | 30% | ... |
| 7. 情報セキュリティ対策 | 15% | 28% | 35% | ... |
| 8. 社会貢献活動推進 | 12% | 25% | 30% | ... |
| 9. 人材育成強化 | 18% | 32% | 40% | ... |
| 10. 設備投資計画 | 10% | 20% | 25% | ... |

絞り込んだ課題に対して、要素を分解し、課題解決に向けた道筋を具体的に設計する。これを改善プランに落とし込む。

ステップ5-6

改善活動の実施
トライ&エラー



小さく日々Tryし、小さい改善を繰り返していく。自分たちで考え、行動してその解釈に行き詰ったら、TRAPEに対して日常の中で小さく質問をし、そのまましておかないという習慣を身につけてもらう。

ステップ7

事後データ検証
成果の振り返り
まとめ

| 項目 | 介入前 (%) | 介入後 (%) | 変化率 (%) |
|------------------|---------|---------|---------|
| 1. 仕事している、気持ちよい | 15% | 25% | +43% |
| 2. 業務は、見及がはげしい | 20% | 30% | +71% |
| 3. 仕事に、楽しさを感じる | 10% | 20% | +43% |
| 4. 仕事に、やりがいを感じる | 15% | 25% | +43% |
| 5. 仕事に、達成感を感じる | 10% | 20% | +71% |
| 6. 仕事に、やりがいを感じる | 15% | 25% | +57% |
| 7. 仕事に、やりがいを感じる | 10% | 20% | +43% |
| 8. 仕事に、やりがいを感じる | 15% | 25% | +43% |
| 9. 仕事に、やりがいを感じる | 10% | 20% | +43% |
| 10. 仕事に、やりがいを感じる | 15% | 25% | +43% |

(注: 介入前後の比較)

成果についてまとめ、振り返る(量的・質的)。成果が出た要因、課題として残ったところについて深掘りを実施する。また発表会を行うことで理解を更に深める機会とする。